

セッション①：エリアマネジメントとこれからの「知の交流・交易」

長谷川氏 ・インプットトークにおける示唆は、これからエリアマネジメントにおいて考えていかなければいけないテーマはイノベーションの創出やクリエイティビティの向上であるということだと思う。このセッションでは、コロナ禍でリアルに会うことが難しくなっている現状で、われわれに何が出来るのかを、三つの地域、地区の活動をご紹介いただきながら意見交換を行いたい。

田中氏 ・東急不動産では Green Work Style という取り組みをしている。これは緑の力で働く人の健康を保ったり、ストレスを軽減したり、あるいは新しい発想を生み出したりということ、エビデンスを取りながら展開していく取り組みである。竹芝においても一つの集大成として外の緑あふれる空間で仕事ができるような取り組みを進めている。3階のテラス空間で、先週の週末オープニングイベント SMARTCITY FES で3日間、音楽ライブを行った。コロナ禍で極めて限られた人しか参加できなかったが、まさにアーティストが手に届くような位置で、非常にスペシャルな体験が実感できたということと、オンライン配信を、現場の映像とはまた違うオンライン特有の配信、映像技術を施しオンラインで見た人は、普段のライブとは全く違う映像を見ることができて非常に楽しかったというようにお話をいただいている。リアルだと90万人近い人に見てもらえる機会はなかったが、非常に好評で今も問い合わせがある。エリマネにおいてもこういった場所ややり方を活用することによっていろんな知の交流ができていくのではないかな。

朝賀氏 ・2014年に新虎通りが供用開始し、2016年にエリアマネジメント団体が組織され、地元の皆さんと一緒にエリアビジョンを策定している。ただ、地元の町会や沿道に本社を構える企業の方と議論を重ねていく過程で、総花的で具体的に何がやりたいのかが分かりにくいビジョンになっているという意見もある。そこで、今年

度、国交省が創設した官民連携まちなか再生推進事業を活用し地元港区と連携を取り、いま一度、with コロナ、ニューノーマル時代の未来ビジョンを構築することを考えている。エリアビジョンでは、グローバルな産官学の交流によるイノベーション創発を目的としたビジネスコミュニティを醸成していくことを掲げており、先ほどの小林会長のインプットトークにもあったように、虎ノ門ヒルズ・ビジネスタワーの4階に大企業のイノベーション部門、いわば「出島」的な機能をサポートする施設を設置したり、「新虎通りコア」において英国立美術大学と東大のコラボレーションによるデザインアカデミーを開催する等の試みを進めている。一方、新虎通りはこれから沿道開発が進んでいく、まだまだ余白の多いエリアであり、エリアマネジメント団体としては、今後の大きな開発とどのように連携をとっていくのが課題である。

田口氏 ・オンラインも空間の広がり、時間の広がりなど、かなりメリットがあり活用しているもの、デメリットもある。例えばリアルだとそのあとに行われていた名刺交換会や雑談といったものがあつたが、そういったものを通じた新たな関係性の構築が困難となる。そこで、コミュニケーションのローコンテキスト化を学ぶことと曖昧性の排除が必要となっている。今までもそうだが、オンライン、オフラインに関係なく、ソーシャルキャピタル、良質な関係性が重要になるし、オンラインでは面倒で時間がかかることの意味、意義がより重要になってくるのではないか。コロナ禍で、特に高級食材が売れないという話があり、築地を盛り上げるため、築地の魅力について発信し、かつ、事前に食材を送っておいて、みんなで作って最後に乾杯するという企画があつたが、この企画は非常に盛り上がった。このように、企画次第ではいろいろとできるところがあると考えている。会社は目的がありそこに集うが、今、社外コミュニティ化が加速しており、この良質なコミュニティをどう持つのか、そのクラスターをどうつないでいくのかにエリアマネジメント

の価値があるのではないかと考えている。

長谷川氏 ・ エリアマネジメントは、エリアという土地に根差した活動をしているが、オンラインがエリアマネジメントをさらに加速させていく、価値を高めていくために何か使えるのではないかと思う。そこで、オンラインとリアルをどう使い分けていくのかということを知りたい。

田口氏 ・ 同じような機能の街は、これからは多分魅力がなくなっていった、いろいろ特徴がある、スパイキーな街ってというのが選ばれていった、その特徴に基づいて人が集まってくる。それは物理的にも集まるし、もしかしたらオンラインでも、機能的にも集まる。その機能の部分を切り出し、そこを明確化するのが、これからのエリアマネジメントに必要なことだと思う。

朝賀氏 ・ 今回コロナで、国交省から道路の占用の緩和の措置があり新虎通りでもいくつかの店舗で申請し新虎エリマネ、エリマネ法人が取りまとめて申請をした経緯があるが、はんこ持って警察に、保健所に、道路管理者のところに行かないといけないという現実があった。行政手続きオンライン化を期待したい。

田中氏 ・ オンラインでできることはもうオンラインでやればいいと思う。ただ、単なる映像配信ではなくオンラインでやったほうが絶対面白いよねという取り組みをやっていくことが重要。リアルの方を持ってる人はオンラインより面白い取り組みを見せていくことが、リアルとオンライン両方が成立していく条件ではないか。